

職場における風しん患者の発生と その対応について

静岡県西部保健所 所長 安間 剛

富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



- 1 静岡県西部保健所の現況
- 2 本事例の概要
- 3 探知と経過
- 4 対応
- 5 今後の課題（反省点）

富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



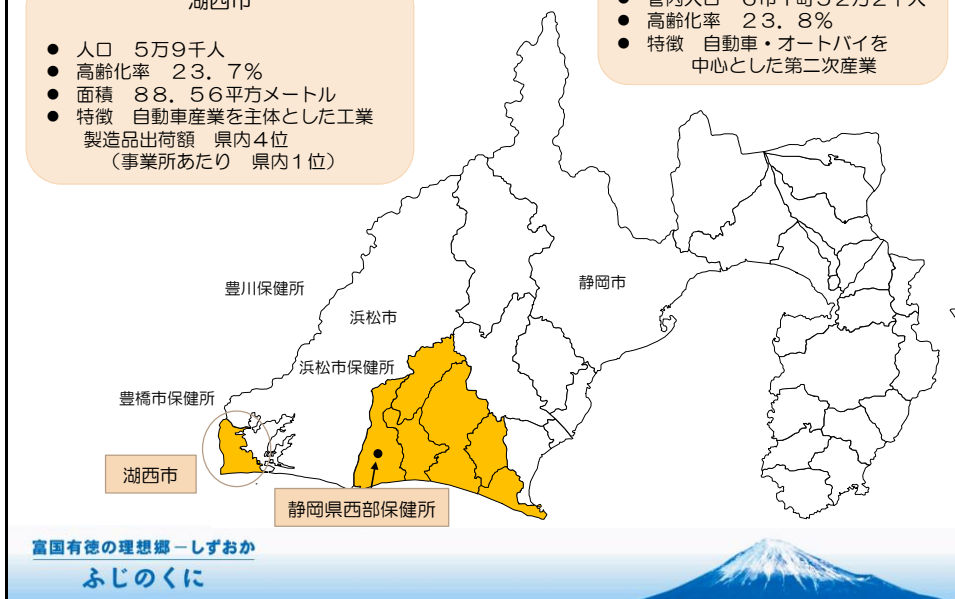
1 静岡県西部保健所の現況

湖西市

- 人口 5万9千人
- 高齢化率 23.7%
- 面積 88,56平方メートル
- 特徴 自動車産業を主体とした工業
製造品出荷額 県内4位
(事業所あたり 県内1位)

西部保健所

- 静岡県の西部に位置
- 管内人口 6市1町52万2千人
- 高齢化率 23.8%
- 特徴 自動車・オートバイを
中心とした二次産業



1 静岡県西部保健所の現況

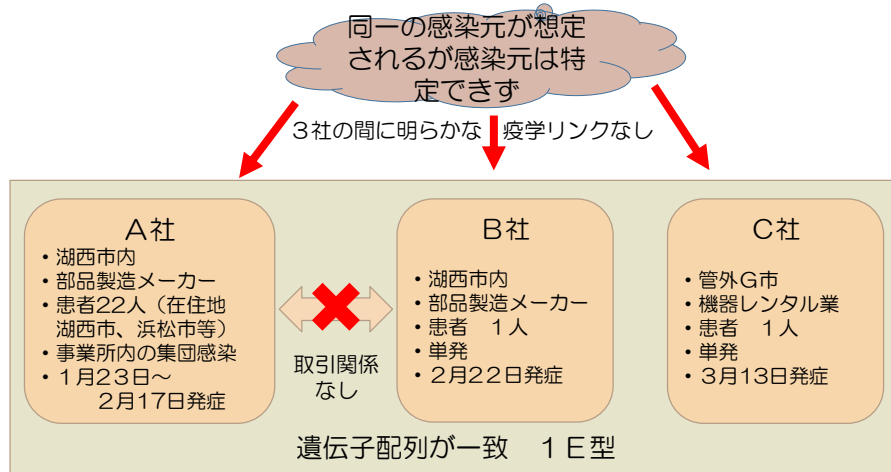
風しんの発生状況

	風しん患者数	
	静岡県	全国
平成20年	17 (1)	294
平成21年	1 (0)	147
平成22年	3 (0)	87
平成23年	4 (2)	378
平成24年	18 (2)	2,392
平成25年	149 (46)	14,357
平成26年	4 (0)	321
平成27年 第30週まで	19 (11)	109

厚生労働省「感染症発生動向調査」
括弧内は西部保健所管内患者数

2 本事例の概要

平成27年1月下旬から県西部地域で散発的に「風しん」が流行し、患者数（感染症法上の未確定を含む）は24人となった。



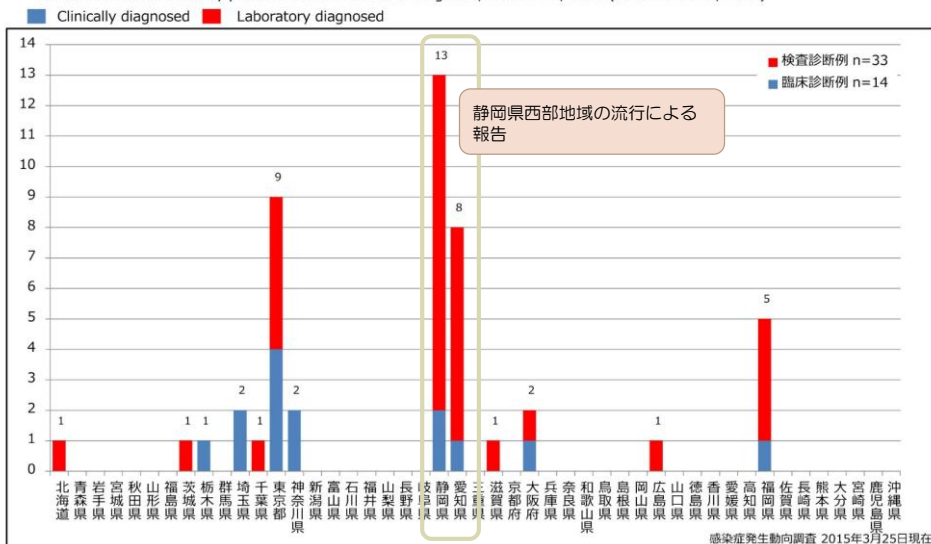
富国有徳の理想郷—しずおか 2014 Disease Control Division, Shizuoka Prefectural Government
ふじのくに

2 本事例の概要

累積報告数

4. 都道府県別病型別風しん累積報告数 2015年 第1~12週 (n=47)

Cumulative rubella cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-12, 2015 (as of March 25, 2015)



富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

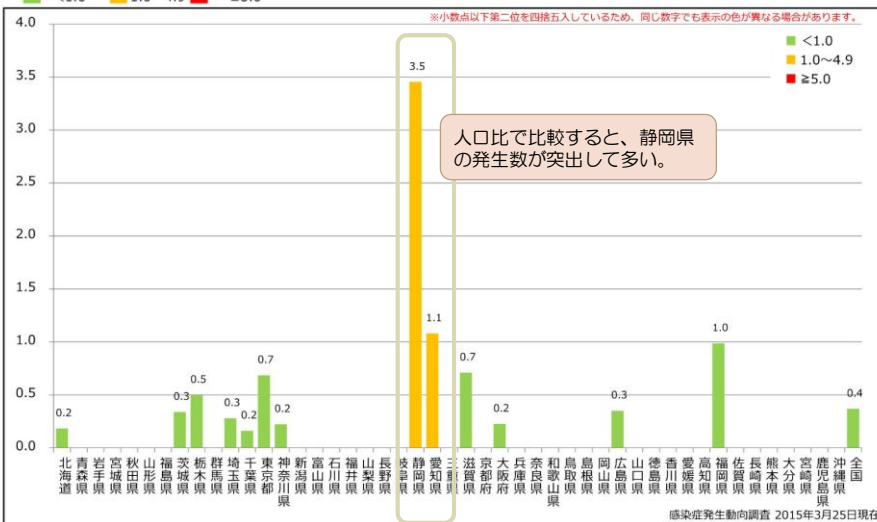
2 本事例の概要

人口百万人あたり

8. 都道府県別人口百万人あたり風しん報告数 2015年 第1~12週 (n=47)

Reported rubella cases per 1 million population by prefecture, week 1-12, 2015 (as of March 25, 2015)

■ <1.0 ■ 1.0~4.9 ■ ≥5.0



人口比で比較すると、静岡県の発生数が突出して多い。

富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

2 本事例の概要

事業所の概要

A社

- ・業種 部品製造業。
- ・従業員 約1,280人
- ・感染状況 感染元は特定できず。
患者の勤務場所は分散。
感染経路として疑われる事象（会議、喫煙所、食事等）は確認できなかった。

B社

- ・業種 部品製造業
- ・従業員 約30名。

C社

- ・業種 機器レンタル業。
- ・従業員 発生事業所内の従業員は約10人

富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

患者定義

○検査診断例

届出に必要な三徴（発疹、発熱、リンパ節腫脹）のうち1つ以上を満たし、かつ、風しんI g M抗体陽性またはPCR検査で遺伝子検出され、感染症発生動向調査（NESID）に風しんの検査診断例として届出された者。

○疑い例

届出に必要な三徴（発疹、発熱、リンパ節腫脹）のうち2つ以上を呈し、かつ感染症発生動向調査（NESID）に風しんの検査診断例として届出されていない者



2 本事例の概要

患者属性

患者

- 国籍 日本 23人
- 性別 男性 22名 女性1名
- 渡航歴 最近の海外出張歴 3名（A社）
ただし、感染推定時期ではない。

年代	人数	年代	人数
30～34歳	3名	35～39歳	2名
40～44歳	5名	45～49歳	5名
50～55歳	6名	55～59歳	2名



2 本事例の概要

症状・診断状況

症状

3特徴	症例数（発生比率）
発疹	23例（100%）
発熱	21例（91.3%）
リンパ節腫脹	10例（43.4%）

診断

検査診断例	疑い例
13例	10例



検査診断例 13例中
IgM抗体検出 13例
PCR法による遺伝子検出 2例

富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



3 探知と経過

経緯

- 2月 7日（土） 湖西市内診療所から「発生届」が西部保健所に提出。
12日（木） 浜松市保健所より情報提供
・市内で発生した風しん2件のうち1件の発生届から、A社の職場内感染の可能性あり
・A社へTEL確認により13名の発生の回答を得た。
13日（金） 関係医師会、市立湖西病院、湖西市に情報提供。関係各機関との情報共有。
16日（月） A社訪問。状況調査。
18日（水） 県庁疾病対策課、浜松市保健所、豊橋市保健所、西部保健所にてA社訪問し情報共有。今後の方向について話し合い。
24日（火） 国立感染症研、関係各機関でA社訪問。これまでの検証と今後の方針検討を実施。ワクチン接種の推進等を改めて実施。
26日（木） 浜松市保健所から湖西市内B社勤務40歳代男性の発生届があった旨情報提供。
27日（金） B社訪問。A社との確かな関連性なし。PCR検査にてウイルス型は1E型で一致。
27日（金） A社、ホームページでプレリリース。また産業医によるワクチン接種開始。

23日（金）にA社にて22人目の患者発生あったが、以降A社、B社とも新たな患者発生なし。

4月13日（月）A社「風しん終息のお知らせ」ホームページで発表。

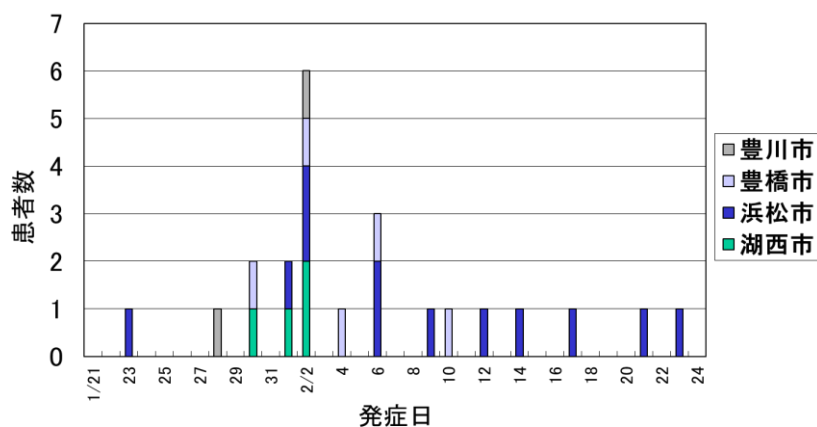
富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



3 探知と経過

発症状況の推移

(1月23日～2月23日 n=23)



富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



4 対応 (A社)

風しんの流行状況

発症した従業員に対する対応

休業指示と休業基準（期間）の徹底 → 診断当日からの休業が徹底された
発症者家族の健康状態確認。

他の従業員に対する対応

手洗い、マスク、うがい等の実施の指導
接触者への注意喚起
社内イントラネット等を活用した「風しん」に関する情報提供
社員に対する予防接種の実施（2月27日～ 社内実施）

情報の把握と共有

行動調査、接触者の確認 → 別紙資料を作成し、関係機関と共有
妊娠または妊娠の可能性のある者の把握。
→ 発症者・発症者の周囲の従業員、発症者の家族

富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



4 対応（保健所）

風しんの流行状況

企業に対する指示

「地域への感染拡大」、「先天性風しん症候群発生」の防止を対応目標として提示
休業指示と休業基準（期間）の徹底
行動調査、接触者の確認 →
発症者家族の健康状態確認。

情報の共有

浜松市保健所、豊橋市保健所、県疾病対策課、西部保健所、A社のグループメールを設定し、全ての連絡を共有化した。

協力依頼

地元医師会に「風しん」診断とワクチン接種への協力を依頼
A社産業医の事業所内でのワクチン接種実施の手続

富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



5 今後の課題（反省点）

対応開始後の流行拡大の防止に成功
地域への感染拡大・先天性風しん症候群の発生を回避

- 【成功の要因】
- ・事業所の迅速な対応
 - ・国立感染研の手厚い支援
 - ・2県・3事業所・4保健所が関連する事例であったが、関係機関の情報共有、意思疎通に成功



○定期風しんワクチンの着実な接種に向けての取り組みの必要性

○妊娠前女性、成人男性、妊娠中の女性の家族への風しんワクチン接種に向けての取り組みの必要性

一方、「職場において30代以上の男性社員の集団感染」を防止するためには成人男性のワクチン接種率向上が不可欠

「企業」をターゲットとした新たなアプローチの必要性

富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



7 今後の課題（反省点）

企業に対する啓発のポイント

BCP（事業継続計画）

「風しん」は企業におけるリスクであるとの認識が必要

企業の社会的責任

地域に感染を広げた場合（最悪のケースとして「先天性風しん症候群の発生」）の企業の責任と影響への認識

海外進出に伴うリスク対応

新興・再興感染症を中心とした感染症のリスク増大と、出張や駐在する社員に対するワクチン接種の必要性

接種費用が全額損金に算入できることも併せて周知

富国有徳の理想郷－しずおか

ふじのくに

